

分野名：人権教育

社会人権教育・啓発の取組

～より多くの人に広める啓発活動の工夫～

上毛町教育委員会教務課 社会教育係 穴田大介

1. 事業名

人権教育・啓発事業

2. 事業の目的

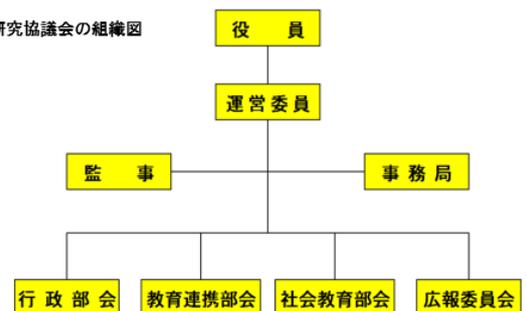
一人ひとりが個人の尊厳をもって生活できるように家庭、学校、地域、職場のあらゆる場において人権について考える機会を提供し、正しい理解と認識を深めるための教育・啓発を推進する。

3. 事業の主体

上毛町人権教育研究協議会

事務局は、人権教育の主管課である教務課社会教育係が担当。専門部会として行政部会、教育連携部会、社会教育部会の3部会と、広報委員会がある。

上毛町人権教育研究協議会の組織図



4. 連携・協力機関・団体等

行政部会は上毛町副町長を部会長として課長職、議会代表、自治会代表、人権啓発担当で構成。教育連携部会は、小・中学校長の代表者を部会長として、保育所長、小・中学校の教員（人権担当者）、保育士（人権担当者）で構成している。社会教育部会は、社会教育委員の代表を部会長として、教育委員をはじめ、自治会や民生委員、PTA、企業など、地域のみなさんに参画していただいている。

5. 事業予算

1, 256千円

6. 実施に至る経緯

上毛町は、平成29年3月に策定された第2次上毛町総合計画の中で「みんなが輝くまち上毛」の実現に向け、4本柱の一つである「たくさんの人で輝くまちへ」の主要施策の中に、「人権教育・啓発、相談体制の充実」を掲げ、人権教育啓発事業に取り組んでいる。

7. プログラム作成の視点

現代社会においては、人権課題がますます多様化するとともに、無関心や無意識ゆえの人権侵害が後を絶たない状況である。一人ひとりが個人の尊厳をもちながら生活できるように、家庭、学校、地域、職場などのあらゆる場において、人権問題や男女共同参画の社会づくりに対する正しい理解と認識を深めることが必要であり、上毛町では人権教育・啓発の充実を図る取組を進めている。

8. 事業の内容

(1) 講演会・各種集会の開催

多くの人々が人権感覚を身につけ、互いの人権を尊重し合える地域社会を実現することを目的として、例年、学習会や研修会を開催している。また、12月4日から12月10日の「人権週間」に合わせて、講演会を開催している。

①人権講演会（人権週間の取組）

人権週間の取組として、中央公民館「げんきの杜」で上毛町人権講演会を開催した。講師にフリーアナウンサーの笠井信輔氏をお迎えし、「足し算で生きる力～困難を乗り越えるためのヒント～」と題して講演をいただいた。

ステージ4のがん治療から完全寛解した体験を通して、QOL（クオリティ・オブ・ライフ、治療生活や入院生活の質）を向上させることの大切さや、がんになったことで繋がった人との縁について、笑いも交えながら分かりやすく熱いメッセージを伝えてもらった。

- ・期日：令和5年12月3日(日)
- ・会場：中央公民館「げんきの杜」
- ・参加：165名

【同時開催】

人権ポスター・標語の表彰式、啓発品の配布

- ・講師：フリーアナウンサー 笠井信輔氏
- ・演題：足し算で生きる力～困難を乗り越えるためのヒント～

②豊前築上地区人権・同和教育研究集会

「人権が尊重され、みんなが輝くまちづくりへ」をテーマに人権の尊重に視点を当て、「差別の現場に深く学ぶ～耳を澄まそう、目を凝らそう～」を演題に西日本新聞論説委員 前田隆夫氏をお迎えし、同和問題をはじめ人権問題をめぐる昨今の出来事を交えてご講演いただいた。

- ・期日：令和5年8月6日(日)
- ・会場：中央公民館「げんきの杜」
- ・参加：257名
- ・講師：西日本新聞論説委員 前田隆夫氏
- ・演題：差別の現場に深く学ぶ ～耳を澄まそう、目を凝らそう～

(2) 人権ポスター・標語の募集

毎年小・中学校の児童生徒の人権意識の高揚を図ることを目的に人権啓発するための作品（ポスター、標語）を募集している。入選作品は住民に人権への正し

い理解や認識を深めてもらうため、人権啓発冊子『みんなのしあわせ』に掲載するほか、人権週間を中心に公共施設等に掲示した。

また、町の年間行事等を掲載したカレンダーに載せ、人権カレンダーとして全家庭、学校、企業に配布した。

12月の「人権週間」に合わせて、町内の小・中学校の児童・生徒から応募があった人権ポスターや標語の入選作品を中央公民館「げんきの杜」のロビーに展示し、人権啓発を行った。

(3) 街頭啓発や啓発冊子の配布

住民の人権意識の普及高揚を図り、人権尊重の輪を広げていく活動として、7月の同和問題啓発強調月間中に合わせて道の駅しんよしとみと大平楽の2か所で町長、副町長、人権擁護委員、関係職員で人権啓発品を配布している。また、例年12月の人権週間には、人権講演会に合わせて、中央公民館「げんきの杜」で人権啓発品の配布を行っている。

(4) 啓発広報紙「みんなのしあわせ」発行

啓発冊子『みんなのしあわせ』を発行した。全12ページの啓発冊子で、内容は小・中学校の取組の紹介や、中学生が作成に携わった人権まんが『菜穂ちゃん』シリーズ、懸賞クイズなど児童・生徒や保護者にも見てもらえるよう内容の充実に努めている。

9. 事業の成果

- 講演会と人権ポスター・デザイン標語入選作品の展示・表彰式を同時に開催することで、受賞者（学生）とその保護者を講演会に参加するきっかけづくりができた。
- 多くの人が集まる中央公民館「げんきの杜」での人権教育・啓発活動により、住民の人権意識の普及高揚が図れた。
- 菜穂ちゃんシリーズの作成にあたり、中学生と連携したことで、中学生が人権をより身近なものとして、深く考える機会となっている。
- 漫画のかたちをとることによって、住民が関心を持って、楽しみながら身近な人権課題について学ぶことができるようになっている。

10. 今後の課題

- コロナ禍における課題として、活動制限や施設の閉鎖などにより、人権教育や啓発の機会が減少した。
- 研修会等への参加者が少なく、また固定化傾向にある。
- 菜穂ちゃんシリーズは、今後もより多くの人に広めていくためにはどのように展開していくべきか、住民の声を含め、関係者と協議を重ね、工夫していく必要がある。

問合せ先

〒871-0992 築上郡上毛町大字垂水1321番地1

上毛町教育委員会教務課社会教育係

TEL 0979-72-3165 FAX 0979-84-8021

E-mail : kyomu@town.koge.lg.jp